

エコカラットプラス DIY

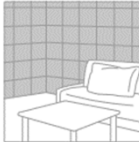
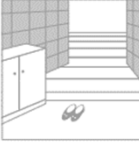

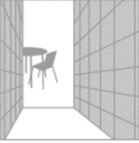
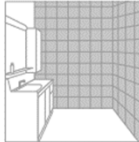
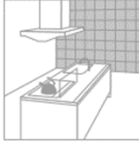



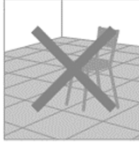
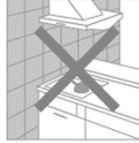

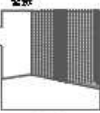


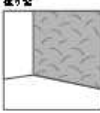
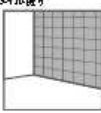



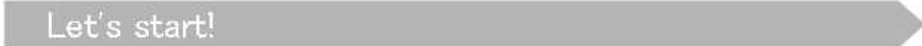
施工FAQ

- ・事前準備が分からない ……p.1
- ・施工手順が分からない ……p.2


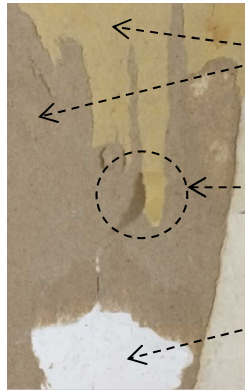

- ・大きな面積を張りたい ……p.3
- ・エコカラットプラスを切断したい ……p.4

- ・その他、補修方法 ……p.5

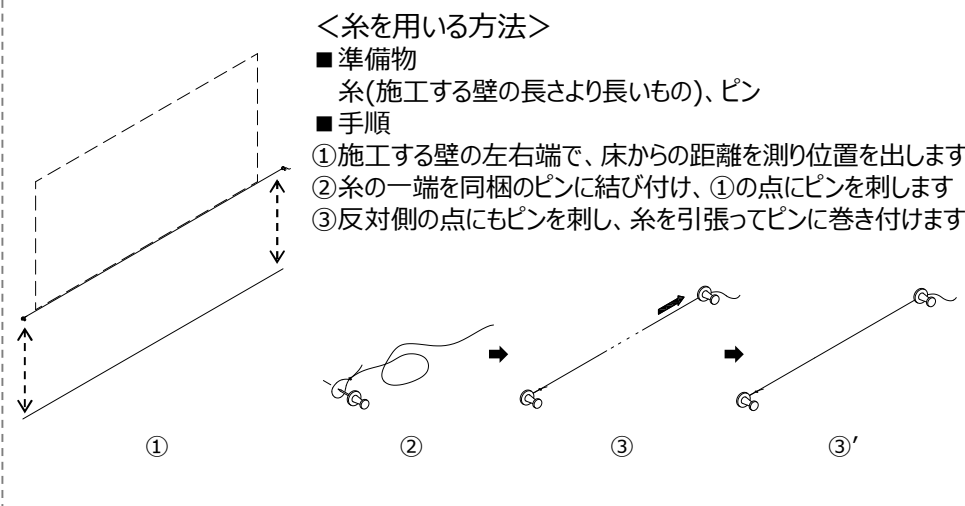
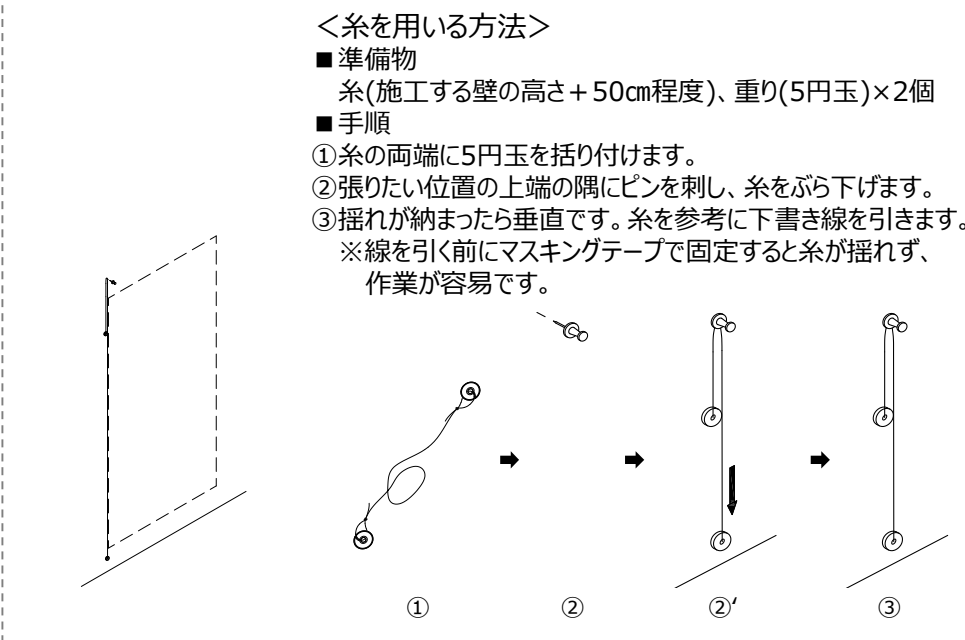
■ 事前準備が分からない

Q	A
<p>どんなところに張れるの？張ってはいけない場所は？</p>	<p>リビングや寝室などの屋内壁を想定しております。 ただし、常時水がかかったり溜まったりする場所には、施工できません。</p> <p>■ 施工可能な部位</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>リビング</p>  <p>玄関壁</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>トイレ</p>  <p>廊下壁</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>洗面室</p>  <p>キッチン</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>洗面室（洗面・手洗いの背面）※</p>  <p>※洗面カウンターに立ち上がり部がなく、壁面と接する部分に常に水がたまる場合は使用できません。</p> </div> </div> <p>■ 施工不可能な部位</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>屋外</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>浴室</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>床</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>キッチンバック</p>  </div> </div>
<p>張れる壁を判断する方法は？</p>	<p>適用下地の条件は下記になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・壁表面の仕上げ：壁紙(クロス) ・壁材の種類：石膏ボード、もしくは合板 ・その他の条件 <p>※下地の状態(ゆがみや凸凹)や劣化(カビや腐食)があった場合は張らないでください。 ※壁材が不明な場合は、購入先の住宅会社様にお問合せください。</p> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><コンクリート下地(RC下地)について></p> <p>コンクリート下地については、本商品の施工手順にて施工できないため、対象外としております。</p> </div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><適用可否の確認方法></p> <p>STEP1: 壁の表面を確認します。</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>壁紙</p>  ○ <p>コンクリート</p>  × <p>板張り</p>  × <p>張り紙</p>  × <p>タイル張り</p>  × </div> </div> <p>STEP2: ピンを壁に刺して下地材を確認します。</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>ピンが刺さる</p>  ○ <p>刺さらない</p>  × </div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">Let's start! </p> </div>

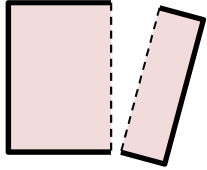
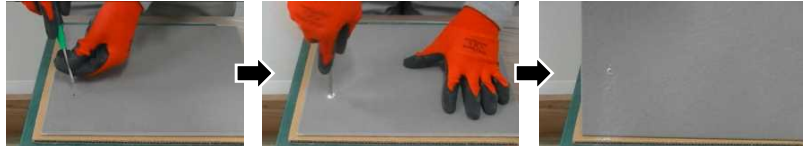
■ 施工手順が分からない

Q	A
水平器はどこで購入すればよいの？	ホームセンターなどで購入できます。 「水準器」「レベル」と呼ばれることもあります。
保護シートはどういったものを用意すればよい？	一般的には、「養生用マスキングシート」と呼ばれるものがよく使われます。ホームセンターで購入できます。 保護シートは、作業時の周囲の汚れや傷の防止のために使用するものです。新聞紙や大きめのビニール袋、レジャーシートでも代用できます。
壁紙って簡単に剥がせるの？	壁紙の表層で剥がしてください。裏紙が浮いている場合は裏紙も剥がしてください。 壁紙は一般的に表層で剥がれるようになっています。施工状態によってはうまく表層で剥がれない場合もありますので、裏紙が残ってしまう場合は浮いている箇所をできるだけキレイに取り除いてください。壁紙より下の層まで剥がれる場合は、下記を参考にして判断ください。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">＜正しい剥がした状態＞</p>  </div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">＜表層以外で剥がれてしまった場合の判断＞</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>○ 裏紙が残った状態</p> <p>× 浮いている状態 (キレイに取り除いてください)</p> <p>× 剥がしすぎた状態 (補修パテ等で直してください)</p> </div> </div> </div> </div>
壁紙を剥がさないといけない理由は？	<p style="color: red;">壁紙の種類によって接着剤が接着しにくい場合がありますので、必ず壁紙を剥がしてからエコカラットプラスを張ってください。</p>
接着剤が足りなくなった場合は？	エコカラットプラス専用接着剤「スーパーエコぬーるG 1kg」にて代用いただけます。 同梱の専用接着剤は多少の余裕を持った分量が入っています。万が一、失敗などで足りなくなった場合は、「スーパーエコぬーるG」をお買い求めください。 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div>

■ 大きな面積を張りたい

Q	A
<p>水平線をまっすぐに下書きするにはどうしたらいいの？</p>	<p>横に長く張る場合は、床や棚の天板など水平に長いものを基準にして線を引いてください。また、距離が離れていて基準にしにくい場合は、下記を参考にして水平線を引く方法もあります。</p> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 10px;"> <p><糸を用いる方法></p> <p>■ 準備物 糸(施工する壁の長さより長いもの)、ピン</p> <p>■ 手順</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 施工する壁の左右端で、床からの距離を測り位置を出します ② 糸の一端を同梱のピンに結び付け、①の点にピンを刺します ③ 反対側の点にもピンを刺し、糸を引張ってピンに巻き付けます  </div>
<p>垂直線をまっすぐに下書きするにはどうしたらいいの？</p>	<p>縦方向の垂直の線を引く場合は、水平器を用いて確認してください。また、大きな面積を張る場合は、下記を参考にして引く方法もあります。</p> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 10px;"> <p><糸を用いる方法></p> <p>■ 準備物 糸(施工する壁の高さ+50cm程度)、重り(5円玉)×2個</p> <p>■ 手順</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 糸の両端に5円玉を括り付けます。 ② 張りたい位置の上端の隅にピンを刺し、糸をぶら下げます。 ③ 揺れが納まったら垂直です。糸を参考に下書き線を引きます。 <p>※線を引く前にマスキングテープで固定すると糸が揺れず、作業が容易です。</p>  </div>

■エコカラットプラスを切断したい

Q	A
<p>直線に切断する方法は？</p> 	<p>直線に切断する際はカッターナイフで傷をつけ、直角な架台などで面全体で押さえて押し割ります。</p> <p>※切断する場合は、3cm以上の幅で切断してください。 ※切断面は紙ヤスリ(#80程度)でごすときれいになります。紙ヤスリは表面側→裏面側の方向に動かしてください。 ※細かい削り粉が生じます。周囲を汚さないように保護した上で作業してください。</p> <p><作業の流れ></p>  <p>傷をつける 押し割る 紙ヤスリで擦る 完成！</p>
<p>「L」字形に切断する方法は？</p> 	<p>切断位置の交点に小さな丸穴を空けてから、金ノコギリで切ります。</p> <p>※ノコギリを引く場合まっすぐと上下に引き、ゆっくりと切り進めてください。左右にずれてエコカラットプラスに横から力が加わると、エコカラットプラスが割れる場合があります。 ※交点の隅部分の状態は、丸みを取ったままとしてください。エコカラットプラスの特性上、隅部分を尖らせるとちょっとした衝撃で割れやすくなります。</p> <p><作業の流れ></p>  <p>交点に穴あけ 1辺を金ノコで切る もう1辺を押し割る 紙ヤスリで擦る 完成！</p>
<p>穴を空ける方法は？</p> 	<p>マイナスドライバーを用いて、軽く力を加えながら回転させることで穴を空けることができます。</p> <p>※力を加えすぎるとエコカラットプラスが割れる場合があります。軽く力を込めて、ゆっくりと少しずつ回転させてください。 ※エコカラットプラスの端に近い位置では割れやすくなります。端から3cm以上離してください。 ※作業台の汚れや傷つき防止のため、カッティングマット等を敷いた上で作業してください。</p> <p><作業の流れ></p>  <p>位置を決める ドライバーで掘る 完成！</p>

■その他

Q	A
補修方法は？ (小さなキズがついたら)	ちょっとしたキズは、市販のキズ補修材を用いて目立たなくすることができます。
補修方法は？ (穴をふさぎたい)	フックやビスなどで一度穴をあけてしまうと、元には戻りません。キズ補修材にて補修してください。(見た目は完全には戻りません)
フックやビスを取り付けたい場合は？	エコカラットプラスを施工して壁面にビスを直接打ち込んだり、フックのねじを締めつけ過ぎたりすると、エコカラットプラスに力が加わり割れの原因となりますので、取付けはお勧めできません。 どうしても取り付けたい場合は、直接打ち込まず、事前にマイナスドライバーなどで下穴を空けてください。また、エコカラットプラスに力が加わらないように、下地で力を受けるように留めてください。